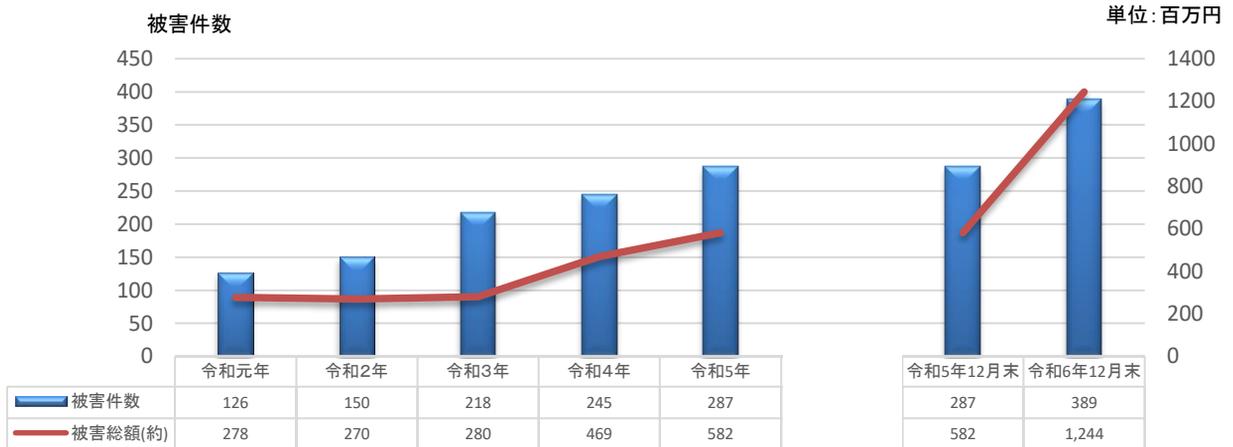


特殊詐欺発生情報

1 特殊詐欺発生状況

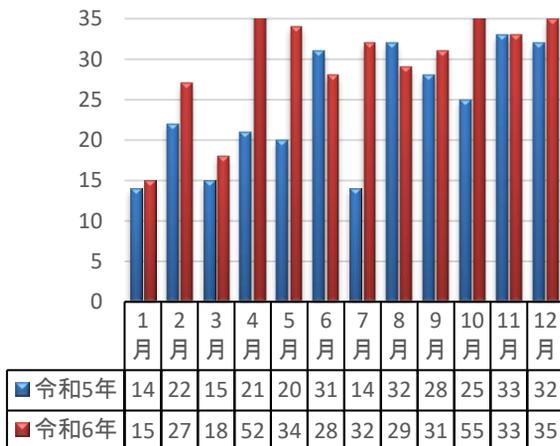
(1) 年別発生件数



令和6年12月末の被害件数及び被害総額はともに前年同期を上回った。

(2) 月別発生件数

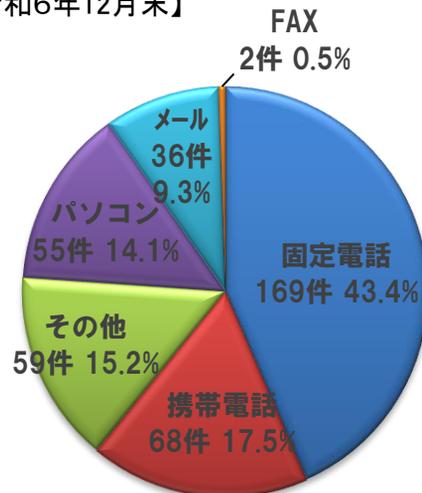
12月は前年同期比+3件となった。



(3) 被害の特徴 【要求方法】

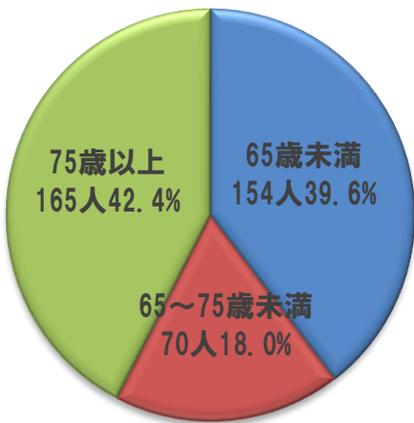
固定電話への要求が約40%を占めている。

【令和6年12月末】



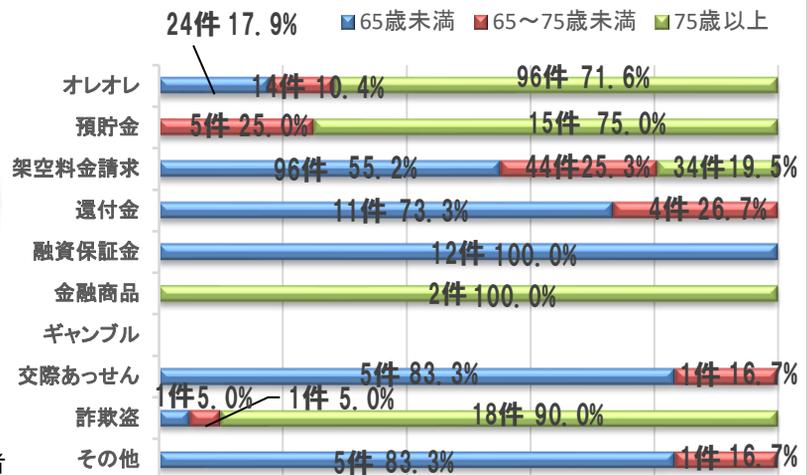
2 特殊詐欺被害の特徴【令和6年12月末】

(1) 被害者の年齢別

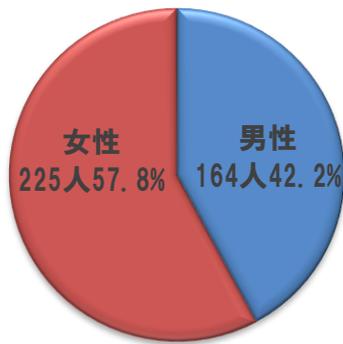


被害者の約60%が65歳以上の高齢者

○ 手口別

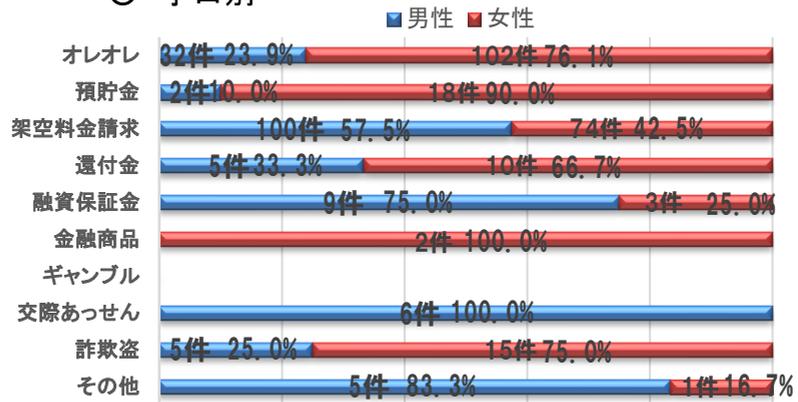


(2) 被害者の性別



被害者の約60%が女性

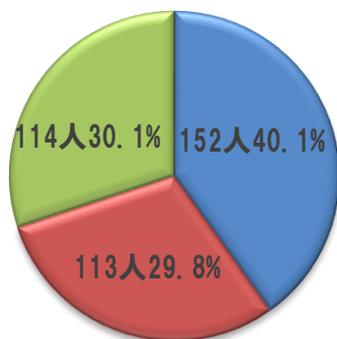
○ 手口別



(3) 被害者の家族構成

※ (3)、(4)、(5)は、被害者 389 人のうち、379 人が回答。

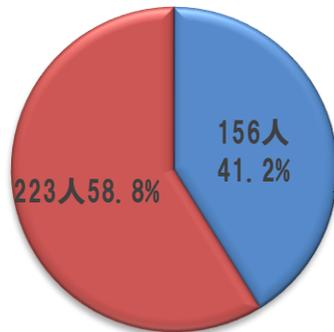
○一人暮らしが約40%、高齢者世帯が約30%を占める。



- 独居(一人暮らし)
- 同居(65歳以上の高齢者世帯)
- 同居(上記の同居以外)

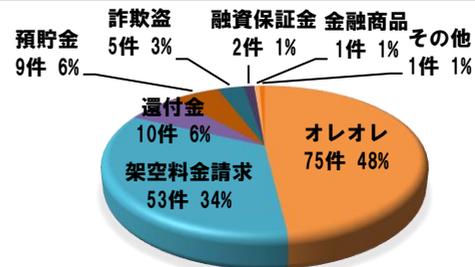
(4) 被害に遭った手口を知っていたか

○約60%が手口を知らなかった。



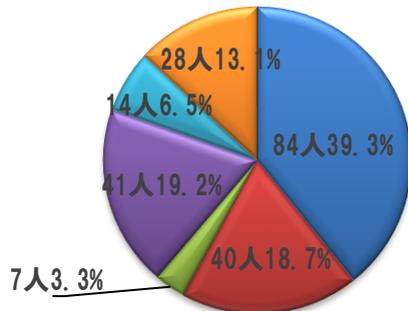
- 知っていた(なんとなく知っていた)
- 知らなかった

<『手口を知っていた』の手口別内訳>



(5) 手口を知っていたにもかかわらず、被害に遭った理由 ※複数回答あり

○『自分が被害に遭うと思っていなかった』『動揺して手口を思い出せなかった』で約60%を占める。

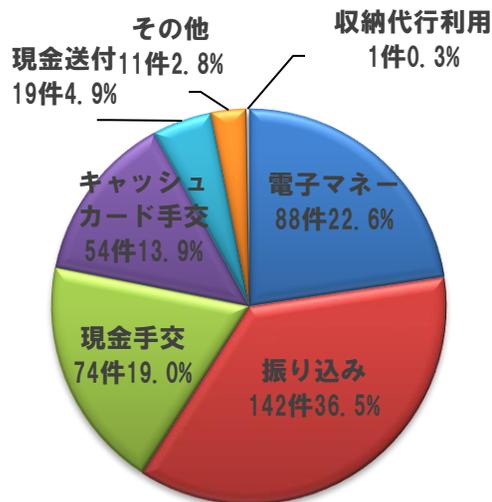


- 自分が被害に遭うと思っていなかった
- 動揺して手口を思い出せなかった
- 今回、被害に遭った手口と以前から知っていた手口が異なっていた
- 不安をあおる言葉を言われた
- 手口の名前は知っていたが、その手口の内容を十分理解していなかった
- その他

<その他>

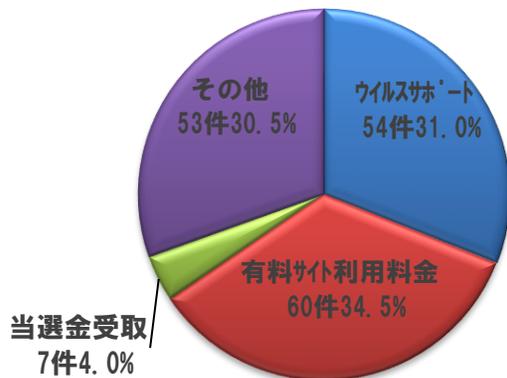
相手が名乗った名前や会話の内容を信じてしまった	15人
親族と声が似ていた	8人
会社のロゴや警察手帳などの画像を示され信じてしまった	3人
電話番号が実在する番号と酷似していた	1人
次々話すので、考える暇がなかった	1人

(6) 交付形態(割合)



交付形態	件数	金額(万円)	割合(件数)
電子マネー	88	5,223	22.6%
振り込み	142	6億9,171	36.5%
現金手交	74	2億404	19.0%
キャッシュカード手交	54	8,257	13.9%
現金送付	19	2億568	4.9%
その他	11	769	2.8%
収納代行利用	1	1	0.3%
合計	389	12億4,393	100%

○ 架空料金請求詐欺の内訳



架空料金請求詐欺の内訳	件数	金額(万円)	割合(件数)
ウイルスサポート	54	2,971	31.0%
有料サイト利用料金	60	6,433	34.5%
当選金受取	7	384	4.0%
その他	53	1億581	30.5%
合計	174	2億368	100%

3 特殊詐欺被害防止対策の状況

(1) 全件通報(件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	180	205	233	193	172	177	278	202	216	214	221	312	2,603
令和6年	215	171	211	181	193	176	282	227	199	192	232	395	2,674

(2) 阻止状況(件数)

